

令和6（2024）年度とちぎネットアンケート結果

テーマ：第4回「食と農業」の持続性への関心について

食と農業に対する現在の県民の理解の状況や、県民が関心を寄せる農業への関わり方を把握するため、ネットアンケートを実施しました



調査概要

調査対象者	811名（とちぎネットアンケート協力者）
調査期間	令和6（2024）年6月18日～7月1日
調査方法	電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答。
回答数	542名（回答率66.8%）

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	222	41.0 %
女性	313	57.7 %
未回答	7	1.3 %
計	542	

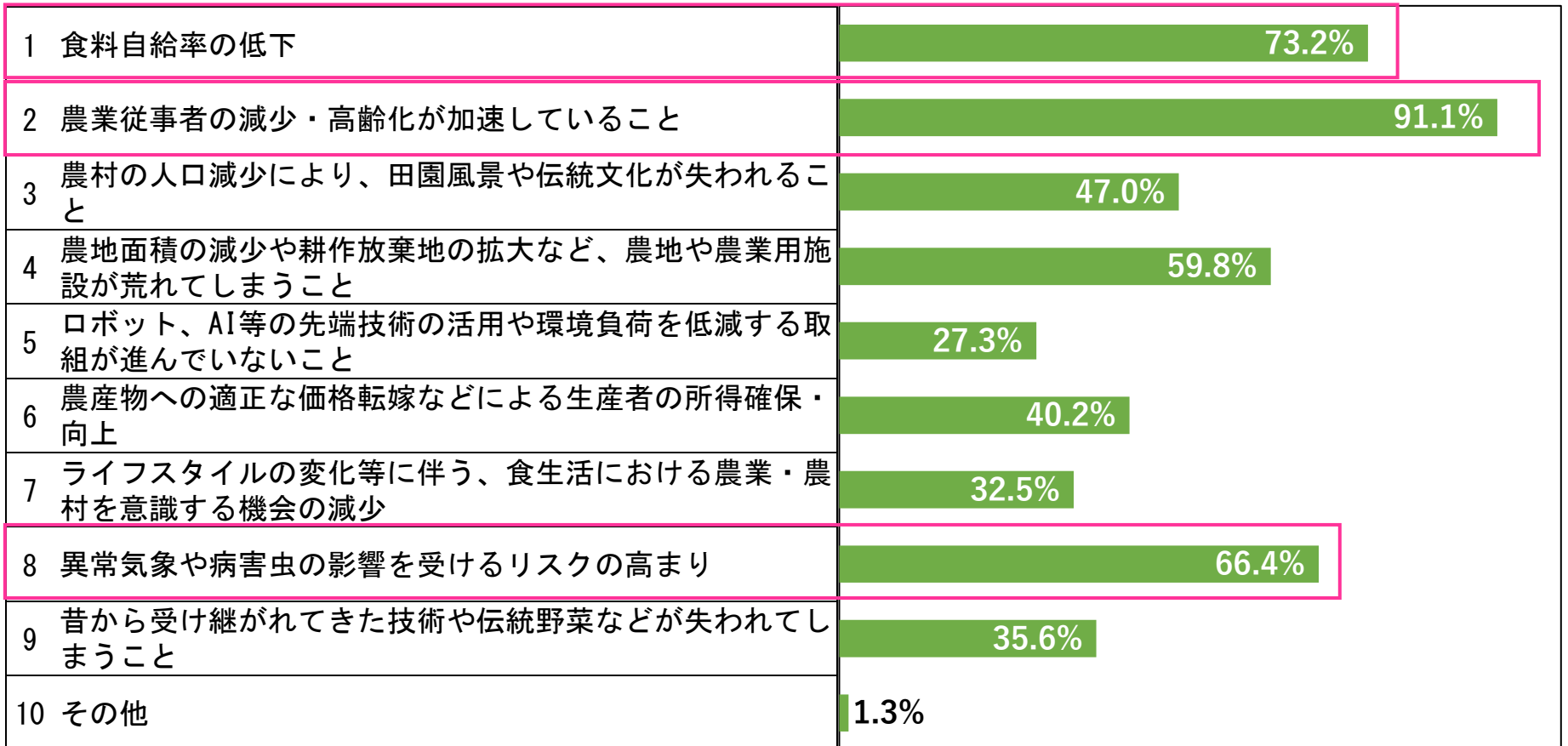
(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	16	3.0 %
30代	48	8.9 %
40代	142	26.2 %
50代	141	26.0 %
60代	124	22.9 %
70代以上	71	13.1 %
計	542	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	274	50.6 %
県南	155	28.6 %
県北	113	20.8 %
計	542	

Q. あなたが、現在の日本の農業の課題として知っているものを全てお答えください。

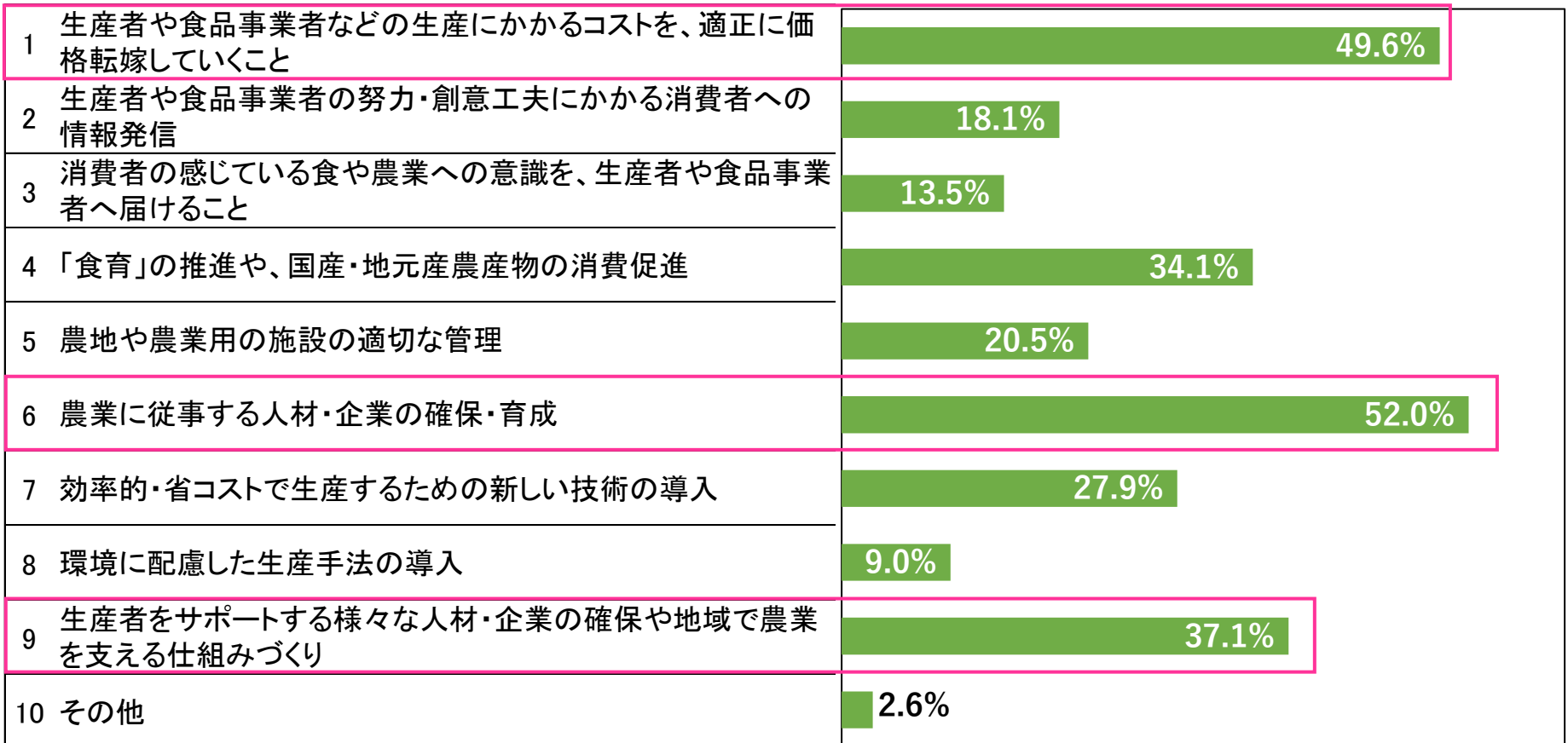


(n=542)

- 農業の担い手の減少に対する危機感は県民も共有。
- また、昨今の国際情勢の不安定化による食料不足への懸念や、異常気象の影響による食料品の品薄など、身近に感じる機会が増えた課題が回答に現れているか。

Q. あなたは、今後の農業を盛り上げていくために、どのような取組が必要だと思いますか。

当てはまるものを選んでください。（3つまで回答可）

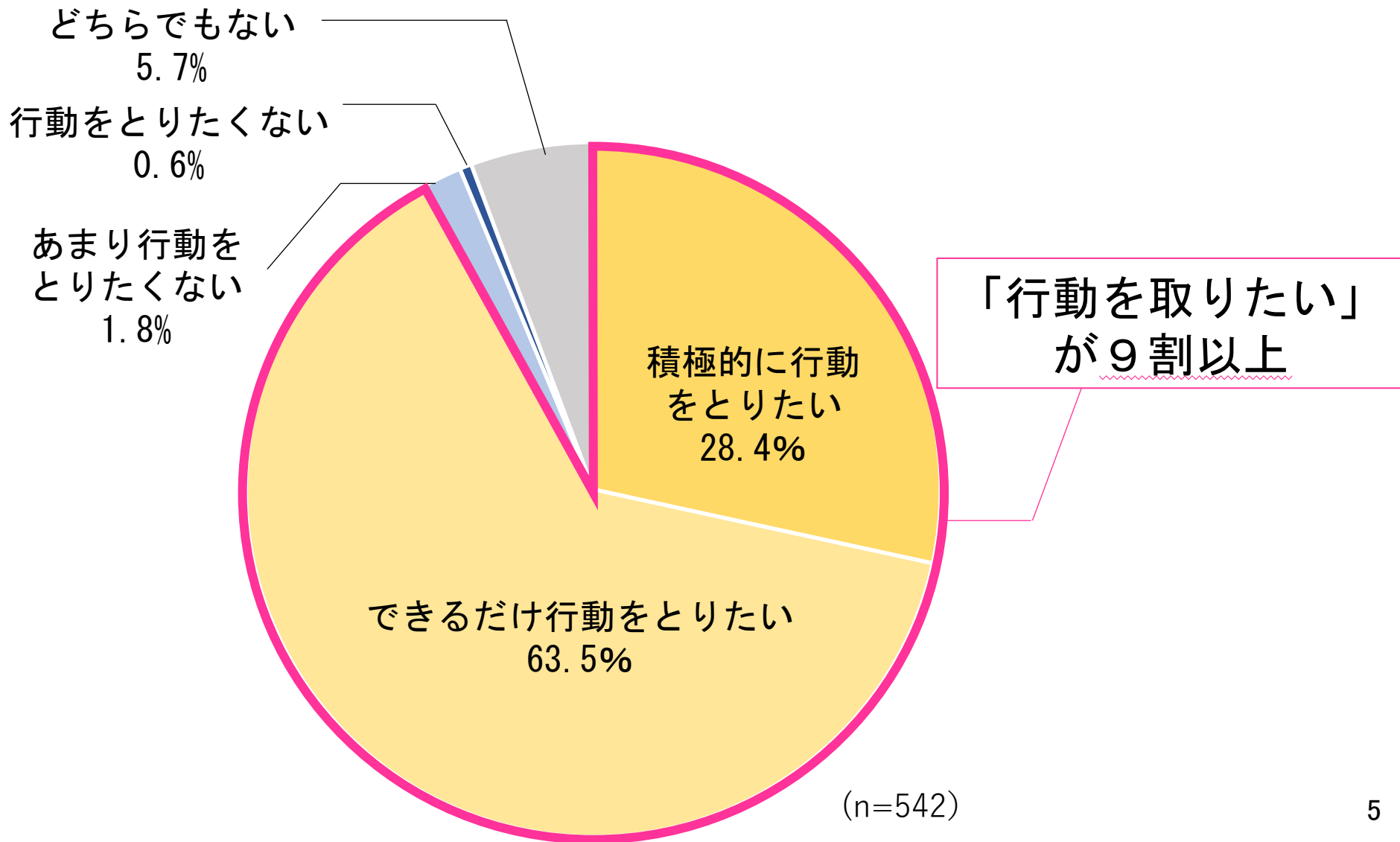


(n=542)

- 農業の担い手の減少への対応が上位
- 消費者の立場からすると生活費の上昇につながるものではあるが、食料品への価格転嫁も今後の農業のためには必要と理解を示す人も約5割存在

Q. あなたは、栃木県の農業を応援する行動をとりたいと思いますか。

※農業を応援する行動：買い物や外食での農産物の消費、農業関係のイベントへの参加など



Q. あなたは、栃木県の農業を、どのような行動で応援したいと思いますか。

当てはまるものを選んでください。（3つまで回答可）

※積極的に行動をとりたい、できるだけ行動をとりたい、と回答した人

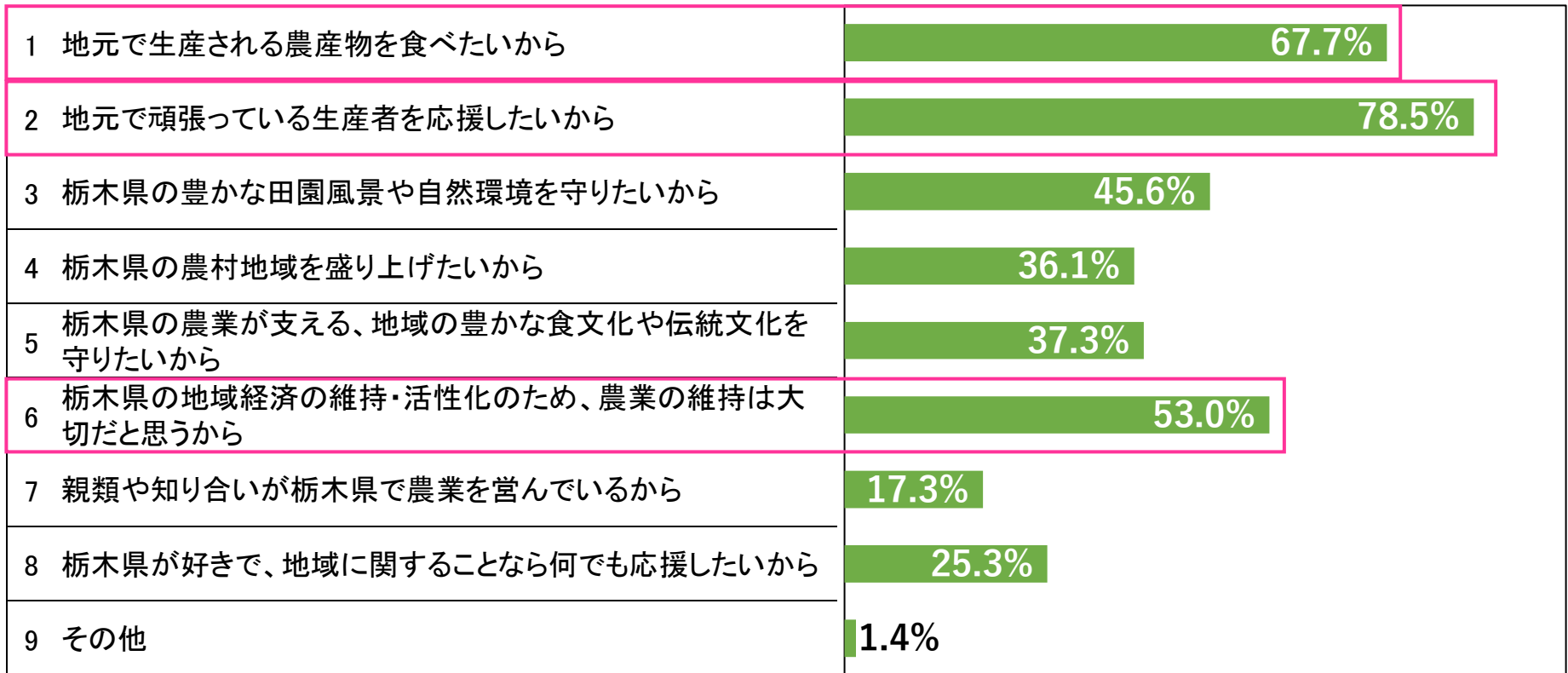
1 買い物や外食において積極的に県産農産物を選ぶ	85.3%
2 県産農産物を扱うマルシェなど、農産物販売イベントに参加する	59.4%
3 摘み取り体験など、農業体験のイベントに参加する	25.3%
4 農業ボランティアに参加する	6.2%
5 農業に携わる仕事に就く(短期アルバイト、パートを含む)	6.2%
6 栃木県の食や農産物に関する情報を発信する	11.4%
7 栃木県の食や農業に関する情報を収集し、理解を深める	42.0%
8 その他	0.4%

(n=498)

- 買い物や飲食での地産地消の実践や、販売イベントへの参加、情報収集などはハードルが低く、行動に移しやすい
- 一方、ボランティアへの参加、自らの情報発信などは行動し移しにくい

Q. あなたが、栃木県の農業を応援したいと思う理由は何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。

※積極的に行動をとりたい、できるだけ行動をとりたい、と回答した人



(n=498)

- 生産者を応援したいという動機が1位。
応援消費やストーリー消費の風潮が現れているか。
- 食品としての地元農産物の魅力、産業としての重要性が続く。